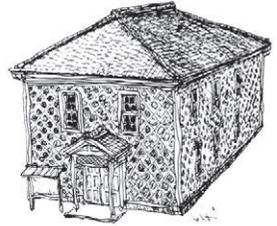


演説館



福澤先生とその門下生たちは、西洋のスピーチ、デベートを研究し、わが国の「演説」を創始しました。三田演説館は、1875（明治8）年に開館した日本最初の演説会堂です。

●常任理事

たけうち
竹内

つとむ
勤

信濃町キャンパスに勇姿現る！新病院棟1号館開設！

医学部開設100年を記念して建設が進められていた大学病院の新病院棟建設事業は、慶應義塾にとって大変大きなプロジェクトでした。建設事業の中心となる新病院棟1号館は、2018年4月21日に竣工式が執り行われ、5月7日にオープンしました。

地下2階、地上11階の免震装置を備えた新病院は、延べ床面積約7万5000㎡を誇り、清々しい空気が流れる空間は、患者さん、教職員、学生の大きな力となっています。院内は森をイメージした色調で統一され、落ち着いた雰囲気を出しています。開放的で明るい外来エリア、女性専用フロア、ご家族と飲食ができる患者さん用のラウンジなど、患者さんに優しい病院づくりが行われました。また、教職員全てが利用できる休憩スペース、医療系3学部が利用する臨床実習用のカンファレンスルームなど充実した環境が実現しました。また、スタッフ動線と患者動線の分離、内科系と外科系を同一フロアに集めたクラスター診療体制の実現、最新装備の大きな手術室など、高度な診療を支える施設としても充実しています。

素晴らしい病院のハードに相応しい病院機能の向上も見逃せません。「患者さん中心の医療を提供する」という病院理念を実践すべく教職員一丸となって取り組み、昨年には全国でわずか12病院と厳しい基準が要求された臨床研究中核病院にも私学で唯一認定され、全国で12病院が認定されたがんゲノム医療中核拠点病院にも加わることができました。

この新病院棟建設事業は、古い病棟の取り壊し、2号館・3号館改修、外構整備など、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年春に完成の予定です。世界の目が東京に向けられる中、アジア有数の拠点病院として世界に高く評価される大学病院となるための地道な努力は続きます。

医療を通して社会とつながる大学病院はオール慶應のハブの一つとして、自ら責任を持ってその使命を果たしていかなければなりません。最後になりましたが、病院建設に多大なるご理解、ご支援、ご寄付を頂戴いたしました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。引き続き、力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。